

※2021年5月2日～2023年5月1日の期間

教育研究業績書

氏名	ながい ひろし 永井 博		職名	教授（文学修士）	
専門分野	日本近代文学、日本文学				
所属学会	日本近代文学会、日本文学協会、金沢大学国語国文学会、宮沢賢治学会、四日市大学学会				
担当科目	入門演習 a、入門演習 b、文学概論、文章表現論、キャリア基礎Ⅰ、キャリア基礎Ⅱ、キャリア基礎Ⅲ、政策科学入門Ⅰ、四日市学、オペレーション演習、日本文化論				
I 教育活動					
教育実践上の主な業績			概 要		
1. 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		全学 FD 活動の一環として、授業改善アンケートに取り組んだ。また、それとは別に「日本文化論」「文学概論」において、学生に授業に対する感想・意見・質問・その時間の講義のポイントなどを書かせ、翌週の授業において質問に回答するなどして授業の改善に取り組んだ。授業のポイントを書かせた場合には、コメントを付し、評価をつけたうえで翌週返却し、定期試験の準備の時に使うように指導した。さらに、学期途中でそれまでの講義内容の復習の時間にし、復習用のプリント資料を使って学生に復習させた。また、ゼミ授業である「入門演習 a」、「入門演習 b」においては、できるだけ双方向の授業にすることを心がけるとともに、「入門演習 a」では、できるだけ学生が新しい友人関係を構築できるような授業の展開を心掛けた。			
2. 作成した教科書、教材、参考書		「文章表現論」では、留学生の日本語指導に力を入れるべく、漢字小テストを毎回実施、作文もほぼ毎回提出させ、添削して返却した。「文学概論」では、与謝野晶子「君死にたまふ事なかれ」、内村鑑三の「露戦争非戦論」、幸徳秋水「戦争来」、トルストイ「汝悔い改めよ」、ボブ・ディラン「風に吹かれて」、谷川俊太郎・武満徹「死んだ男の残したものは」、九条の会、文学者の反核声明などについての資料を作成した。「日本文化論」では、ブルーノ・タウト「日本文化私観」、加藤周一「雑種文化論」、谷崎潤一郎「陰翳礼讃」、三島由紀夫「文化防衛論」、坂口安吾「日本文化私観」などの日本文化を論じた評論についての資料を作成した。			
3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		なし			
4. その他教育活動上特記すべき事項		なし			
II 研究活動					
著書・論文等の名称	単著 共著	発行または 発表の年月	発行所、発表雑誌 (巻・号数)等の名称	編者・著者名 (共著のみ記入)	該当頁数
論文					
井上哲次郎における武士道と捕虜	単著	2022年3月	「四日市大学論集」第34巻 第2号		1-19頁
III 社会における主な活動					
講演等					
2021年8月		四日市市民大学講師（日記・日記文学の楽しみ）			
2022年8月		四日市市民大学講師（日記・日記文学の楽しみ）			
役員・委員等					
2021年4月～2022年3月		いなべ総合学園高等学校学校関係者評価委員			
2021年4月～2022年3月		四日市商業高等学校学校関係者評価委員			
2021年8月～2022年3月		四日市市文化功労者選考委員会委員			
2022年4月～2023年3月		いなべ総合学園高等学校学校関係者評価委員			
2022年4月～2023年3月		四日市商業高等学校学校関係者評価委員			
2022年8月～2023年3月		四日市市文化功労者選考委員会委員			